



発刊にあたり

大内 毅(福岡教育大学特別支援教育センター長)

このたび、福岡教育大学特別支援教育センターでは、日頃の研究活動や地域連携の取り組みをより広くお伝えするために、ニュースレターを創刊する運びとなりました。本センターは、2024年度より本学教育総合研究所から独立し、地域における特別支援教育の推進を担う「特別支援教育センター」として新たな歩みを進めることになりました。特別支援教育に関わる教職員や保護者の皆さま、そして地域の関係機関とともに、子どもたち一人ひとりの学びと成長を支えることを目的として活動しています。ニュースレターでは、センターの最新の取り組み、セミナーや相談活動の報告、研究紹介、そして特別支援教育に関するトピックなど、読者の皆さまにとって有益な情報を発信してまいります。今後とも、福岡教育大学特別支援教育センターの活動に温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

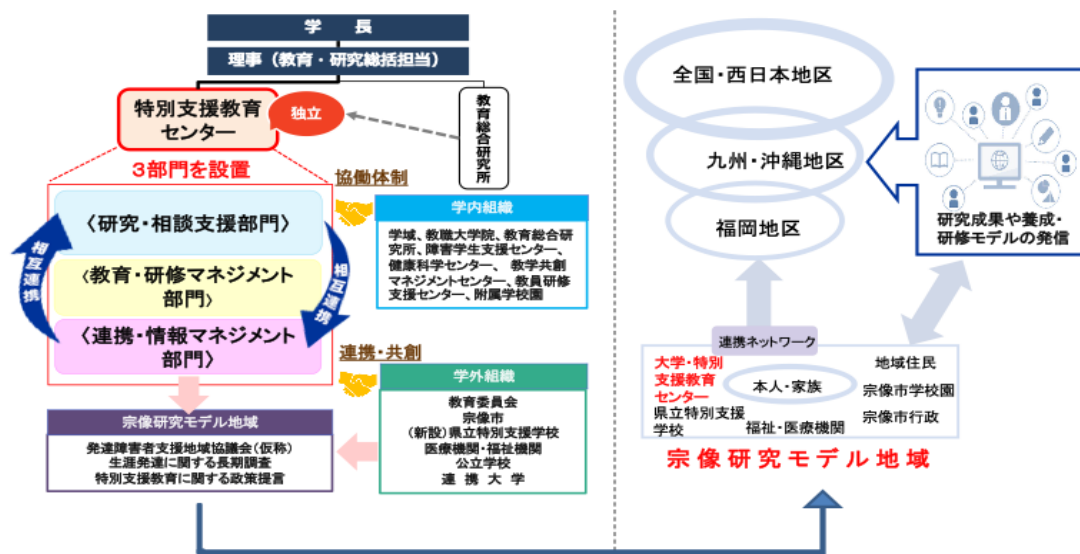
特別支援教育センターのこれから

2024年度より、特別支援教育センターは、これからの地域の特別支援教育の推進を担う「地域密着型拠点センター」として再編拡充を進めています。

そのような中、2026年4月には、大学敷地内に福岡県立おなかつ特別支援学校が開校します。また、校内には「インクルーシブ教育センター」が新たに開設されます。今後は、宗像市や福岡県内の教育委員会・学校現場、本学が連携体制を構築し、地域の特別支援教育における課題解決に取り組みます。

また、そこで得られた知見を基に、地域におけるインクルーシブ教育システムの推進モデルを全国に発信したいと考えています。

新たな特別支援教育センターの組織と学内外との連携体制の展開



図は令和7年度統合報告書・概要(P.20)より引用



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所との連携協定締結

本学と独立行政法人特別支援教育総合研究所(特総研)は、特別支援教育を担う教員の資質向上と地域課題の解決に向けた研究における連携・協力体制をとることにより、国の特別支援教育及びインクルーシブ教育システムの構築・推進並びに関連分野の発展・推進に寄与することを目的として、連携・協力に関する協定を2025年7月4日(金)に締結しました。

この協定を受けて、2025年7月10日(木)及び2026年3月11日(水)に連携推進協議会を開催し、今後の連携の方向性や具体的な取組について意見交換を行うとともに、継続的な連携・協力体制の構築に向けた検討を進めています。

また、特別支援教育の実践上の課題について理論との往還を通して分析・考究し、会員の実践研究の専門性の向上を図ることを目的として、「特別支援教育実践研究会」を発足しました。本研究会は2025年11月16日(日)及び2026年2月23日(月)の2回開催し、地域における特別支援教育の拡充を担う中核教員のプラットフォームとして、特総研専門研修修了生や特別支援学校教員などが参加しました。2月の研究会には特総研の研究者も参加し、実践と研究の双方の視点から活発な議論が行われました。

さらに、本学では、2025年度から初等・中等教育教員養成課程の学生を対象として、特別支援教育に関する4科目8単位を新たに開設しました。新設科目では、本学教員による講義に加えて、特総研が提供する「NISE 学びラボ」の動画コンテンツを活用し、学生の特別支援教育の理解の促進と専門性の向上を図っています。

自立活動に関する調査

インクルーシブ教育システムの構築・特別支援教育の拡充には、自立活動の指導を担う教師の成長とその成長を支える研修体制が不可欠です。日々、教室で子どもと向き合う先生方の成長を支えるために、関係機関との連携のもと、教員養成大学はどのような役割を果たせるとよいのだろう。このような課題意識から、今年度、県内のすべての特別支援学校を対象に、自立活動に関する調査を実施しました。個別の指導計画作成の実際や先生方が直面されている実践上の課題、先生方の自立活動の指導に関する理解や研修ニーズの現状とそれらの関連を明らかにし、自立活動の指導に関わる研修の体系化に必要な基礎的知見を得ることを目的とした研究です。900名超の先生方がご協力くださいました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。分析の結果、日々の実践や直面されている課題等の回答傾向から、いくつかのグループが見えてきました(詳細は後日論文にて)。今後は、それぞれの特徴を踏まえた研修のあり方を探っていきます。一人ひとりの子どもの実態に即した自立活動の指導を個別の指導計画として具体化することは容易ではありません。しかし、オーダーメイドの自立活動の指導を必要とする子どもたちが、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導で学んでいます。本センターも地域の特別支援教育の担い手として、皆さんと一緒に歩みを進めていきたいと思っております。

◎2025年度は、第23回特別支援教育公開セミナーとして、3つのセミナーを開催しました。

開催日	テーマ	講師
2026年2月15日(日)	見えにくさのある重複障害児の教育支援 ～見え方と発達に応じた指導のあり方～	渡邊正人先生(鳥取大学地域学部地域学科 人間形成コース准教授)
2026年3月8日(日)	聴覚障害児の音韻意識の発達と読み書き ～なぜ音韻意識が重要なのか～	渡部杏菜先生(国立特別支援教育総合 研究所研究員)
2026年3月14日(土)	強度行動障がい地域で支援するために ～福岡市の強度行動障がい支援事業に触れて～	倉光晃子先生(西南学院大学人間科学部 社会福祉学科准教授)